

認知症に関する活動計画(概要)

香川県作業療法士会では、当会単体での事業とリハ3団体での事業と大きく2本柱で行っている。当会単体事業としては地域医療介護総合確保基金事業にて2016年度から認知症人材育成研修補助事業を実施し、その知見を活かし2025年度より当会OT会員が出向いて行う認知症出前研修会へ変更し継続している。リハ3団体の事業では認知症予防キャラバン事業として、各市町から依頼を受け、認知症予防講座に県士会員の派遣を行っている。

当会組織に認知症委員会を設置し組織強化、情報収集、発信に努めている。

認知症出前研修会研修会(香川県地域医療介護総合確保基金事業)

香川県から地域医療介護総合確保基金事業として補助を受けて、県内の介護従事者の知識、技術向上や介護負担軽減を目的とし、外部研修会に参加が難しい方、OTが所属していない介護施設や介護事業所等を対象に年間5施設へ当会OT会員が出向いて認知症出前研修会を行っている。応募数が増加傾向にあることから今後は施設数の増加も検討している。



認知症予防キャラバン事業

香川県地域包括ケアシステム推進委員会では作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会のリハ3団体で「認知症予防キャラバン事業」を実施している。地域の自治会や老人会等から8件の依頼があり5名の講師を派遣、延べ120名の方々に参加いただいた。講座は座学と「運動」と「思考」の2つの課題を組み合わせ、脳と身体を同時に刺激する二重課題トレーニングを実施している。参加者からは認知症予防には「運動」、「栄養」、「社会参加」の重要性を理解できたと好評である。

次年度から県地域包括ケアシステム学会と連動して全市町への専門家派遣について人材育成研修も含め、準備を進めている。



認知症委員会

当会の様々な認知症関連の事業を横断的に把握し企画運営の支援を行っている。今後も、情報交換会等に参加し日本作業療法士協会と情報共有をしながら新たな事業提案も検討していく。